

新型コロナウイルス感染症の影響調査結果

2020/3/22

長野県保険医協会

実施期間：3/13～3/17

対象：会員医療機関 913 にファックス

回答数：403 医療機関（回答率 44.1%）

1、医療機関の内訳

病院	23	5.7%
医科診療所	243	60.3%
歯科診療所	137	34.0%
合計	403	

2、医療用品の状況

(1) マスクの状況

マスク	全体			医科診療所		歯科診療所		病院	
	回答数	割合	累計	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
不足見込み	265	65.8%	65.8%	157	64.6%	93	67.9%	15	65.2%
現在不足	74	18.4%	84.1%	55	22.6%	15	10.9%	4	17.4%
問題なし	54	13.4%		22	9.1%	28	20.4%	4	17.4%
無回答	10	2.5%		9	3.7%	1	0.7%	0	0.0%
合計	403			243		137		23	

8割以上の医療機関が不足と回答、現在不足も 18%。

医科診療所では現在不足が2割を超える。

マスクの在庫状況

マスク在庫	全体			医科診療所		歯科診療所		病院	
	回答数	割合	累計	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
数日	19	4.7%	4.7%	16	6.6%	1	0.7%	2	8.7%
1週間	31	7.7%	12.4%	21	8.6%	8	5.8%	2	8.7%
2週間	71	17.6%	30.0%	52	21.4%	15	10.9%	4	17.4%
3週間	53	13.2%	43.2%	28	11.5%	21	15.3%	4	17.4%
4週間	81	20.1%	63.3%	51	21.0%	25	18.2%	5	21.7%
1月以上	113	28.0%		52	21.4%	58	42.3%	3	13.0%
無回答	35	8.7%		23	9.5%	9	6.6%	3	13.0%
合計	403			243		137		23	

約3割で在庫が2週間以内と回答（数日～1週間も12.4%）

約6割の医療機関が4週間で在庫がなくなる見込みと回答。

特に内科の診療所では数日から1週間との回答が多い。

（2）手指消毒液の状況

消毒液	全体			内科診療所		歯科診療所		病院	
	回答数	割合	累計	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
不足見込み	252	62.5%	62.5%	142	58.4%	94	68.6%	15	65.2%
現在不足	88	21.8%	84.4%	63	25.9%	21	15.3%	5	21.7%
問題なし	53	13.2%		30	12.3%	20	14.6%	3	13.0%
無回答	10	2.5%		8	3.3%	2	1.5%	0	0.0%
合計	403			243		137		23	

8割以上の医療機関が不足と回答、うち現在不足も21.8%。

消毒液の在庫状況

消毒液在庫	全体			内科診療所		歯科診療所		病院	
	回答数	割合	累計	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
数日	33	8.2%	8.2%	21	8.6%	8	5.8%	4	17.4%
1週間	31	7.7%	15.9%	23	9.5%	6	4.4%	2	8.7%
2週間	68	16.9%	32.8%	47	19.3%	16	11.7%	5	21.7%
3週間	61	15.1%	47.9%	33	13.6%	25	18.2%	3	13.0%
4週間	84	20.8%	68.7%	47	19.3%	32	23.4%	5	21.7%
1月以上	84	20.8%		41	16.9%	42	30.7%	1	4.3%
無回答	42	10.4%		31	12.8%	8	5.8%	3	13.0%
合計	403			243		137		23	

2週間以内が約32.8%で全体の1/3、うち数日から1週間が15.9%、68.7%の医療機関が4週間で在庫がなくなる見込みという結果となった。

マスクと比べて消毒液の在庫不足がより深刻。病院でも1か月以上在庫があると答えた医療機関は1機関しかなかった。

(3) その他不足する医療用品（自由記載）

感染防止	N-95マスク	11
	グローブ	57
	防護具全て	2
	ガウン	30
	ディスポエプロン（医）	7
	ディスポエプロン（歯）	7
	シールド・ゴーグル等	21
	キャップ	5
	シューズカバー	1
	ディスポ枕カバー	1
医療材料・器材	カテーテル	2
	ガーゼ	13
	インフルエンザ検査キット	1
	体温計（非接触）	5
日用品	ペーパータオル	19
	紙コップ	2
	紙トレイ	1
消毒用品	消毒用エタノール・アルコール	53
	アルコール綿	13
	除菌ワイプ	13
	次亜塩素酸ナトリウム	2
	空間除菌液	1
合計142件回答	22	267

3、通常の診療への影響

診療影響	全体			医科診療所		歯科診療所		病院	
	回答数	割合	累計	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
若干あり	179	44.4%	44.4%	104	42.8%	63	46.0%	12	52.2%
大いにあり	78	19.4%	63.8%	59	24.3%	15	10.9%	4	17.4%
特になし	136	33.7%		74	30.5%	56	40.9%	6	26.1%
無回答	10	2.5%		6	2.5%	3	2.2%	1	4.3%
合計	403			243		137		23	

6割以上の医療機関が診療への影響があると回答。

<特徴的な意見>

- 感染を恐れた受診抑制（特に高齢者）、キャンセルなどで患者数が大きく減少したといった回答が多い。
- マスク、消毒液等不足の回答も多数。マスクの使用枚数制限や再利用、消毒液の使用量制限など感染対策に影響が出ている。処置等の器具の消毒などにも影響あり。
- かぜ症状、発熱等患者への対応で、一般診療所では動線の確保が困難な状況がある。また、連絡なしで来院する患者さんについて行政への不満も散見される。
- インフルエンザ検査を中止した、長期投薬、電話だけの投薬の増加など。

（具体事例は4ページ～）

4、勤務体制への影響

勤務影響	全体			内科診療所		歯科診療所		病院	
	回答数	割合	累計	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
臨時休校	97	24.1%	24.1%	56	23.0%	29	21.2%	12	52.2%
その他	25	6.2%	30.3%	16	6.6%	8	5.8%	1	4.3%
問題なし	273	67.7%		167	68.7%	97	70.8%	9	39.1%
無回答	8	2.0%		4	1.6%	3	2.2%	1	4.3%
合計	403			243		137		23	

問題なしとする回答が7割弱あったが、臨時休校の影響がありとする回答も24%あった。特に病院では臨時休校による職員の勤務体制確保に影響がでている。

<特徴的な意見>

- 子どものいる従業員の出勤が難しく、休暇取得が増えた、時間を半日とした、子連れ出勤としたなど休校措置の影響が職員の勤務体制に影響が出ている。
- もともと少ない職員体制で、欠勤や時短で他の職員への負担が増加。
- 発熱等の患者さんへの対応として空間的な動線を分ける、時間外対応なども加わりスタッフの健康面への影響が心配される。
- 感染者が見つかった場合の医療機関の休診を懸念する声もある。

（具体事例は9ページ～）

5、要望・意見（自由記載）

- マスク、消毒液等の供給の要望が切実で圧倒的に回答が多い。医療機関には配慮すべきとの声など。
- 行政の対応への不満、正確な情報提供を求める声など。
- 患者さんへの受診手順などのアナウンスの必要性。
- 検査体制の充実を求める声など。

（要望・意見は10ページ～）

具体的事例（抜粋）

3、診療への影響に関する具体例

マスク、消毒液等不足（25）

1. スタッフの今後の医療用具の不足への不安。
2. 各医療品を節約しながら使用しているので気疲れする。待合室での感染を予防するために、患者さんたちへマスクを渡してあげたいが、それができない。
3. マスク・消毒液が少ないと処置が難しい。
4. 処置、手術時使用のアルコール消毒剤、マスク不足で困る。
5. マスクの使用枚数を制限している。
6. 現在はまだ在庫があるので良いが、供給がこのままだと大いに困ります。
7. 職員用マスクは自前で用意ができず、サージカルマスクを付けず入院患者対応中。
8. マスクや消毒用エタノールの在庫がほとんどない。診療に支障をきたす可能性がある。
9. 新型コロナウイルス疑われる患者が来院された時、防護策がありません。
10. マスク、手指消毒液不足により、スタッフの感染防止が不十分になる。患者様用の手指消毒が設置できなくなるため、不安を煽ることになるのではないか。
11. 診療用マスクがないと仕事できません。
12. 高齢者施設訪問の為のマスク、グローブ、エタノールが不足。
13. コロナ患者との接触後の対応が心配。
14. マスクや手指消毒液について、使用量を抑えた運用にしているため、万全の体制が取れない。
15. 内視鏡洗浄のアルコールが手に入らない。
16. 急性結膜炎患者の診察後の器具消毒に支障が出てきている。
17. 4月末以降は在庫切れとなり、想像がつかない。
18. 現在は代替品を使っていますが、カテーテル等は今後影響がでると思います。

受診抑制、キャンセルなど患者数減少（56）

1. 感染を恐れ、相次ぐキャンセル（多数）
2. 新患数、アポイントの先延ばし
3. 患者さんの不安が強く、来院しない。電話での問い合わせが多い。
4. 電話診療が多くなった。受診控えが多い。
5. 高齢者が通院を控えている。
6. 患者少ない。直接診察できない。
7. 診療受ける患者数が減っている（2～3割）（受診抑制あり）
8. 患者（来院、訪問とも）減少（多数）
9. 患者がクリニック受診を躊躇している。
10. 予約のキャンセルで継続診療が中断してしまう。
11. 処方のみ希望者が増加

12. アポイントキャンセルにより、定期的にケアに入っている方の口腔衛生状態の悪化。
13. 慢性疾患患者さんも怖がって受診しない。電話再診で薬処方される方が多い。2割程度受診者が少ない。通常の場合でも最低限マスクをして全員が対処。感冒様症状、発熱、咳の患者さんが医院に受診されると、N95 マスク、手袋、ゴーグルで対処、とても気を遣う。
14. 高齢者の定期検診の足が若干遠のいている気がします。
15. 受診抑制あると思われる、患者数 1/3 程度へ減少。
16. 患者数が減っている。(ネット上で「歯科医院は危ない」との風評です)
17. 歯周病治療で定期的に来院の方で、「がん」や基礎疾患のリスクのある患者さんは不安があるということでキャンセル。
18. 感染症が心配との事、リハビリもキャンセル有。
19. 休校による診療中断
20. 一部施設への診療が行えない。

かぜ症状、発熱等患者への対応 (30)

1. 動線確保が難しい。
2. 現在風症状のある人は車内診療の上、院外で診療および処方。その都度予防衣を着替えている為、時間がかかっている。
3. 待合人数が数名となるように、電話診察などの呼びかけをしている。診療体制を全面的に変更。職員や患者も不慣れで大いに苦労している。
4. 症状があり保健所に電話した方が、かかりつけ医を受診するように、また、どこかの医療機関を受診するようにと保健所にいわれて連絡なく直接来院する人が多い。入り口に有症状者は必ず事前連絡をと掲示しておいても、直接来院する人がいて、受付でも混乱、症状がある人と無い人の動線を分けられず、感染が拡大しうる要因となっている。また、有症状者を感染対策して診察するのは診療所としてマンパワー不足でもある。
5. せき・たんがあり、保健所・当院に電話連絡もなく来院し X-P や CT の結果、肺炎と診断されバタバタする。
6. 連絡なしに熱や、上気道症状のある患者さんからの対応。
7. 風邪症状のある方は院内に入れず、車で待機していただき、外に診察に出るようにしている。
8. コロナウイルス感染疑いの方が直接来院したり、電話での対応増加。
9. くすりのみ電話対応で、症状が不明で判断に困る。
10. かぜ症状の方の症状の聞き取り対応が重要で大変である。かぜ症状の方と一般の方との動線を重ならない様に工夫しているが、車で待ってもらったり、電話で症状をお聞きしたり、呼びに外まで行ったりと、対応に大変な労力がかかっている。
11. 通常診療と風邪症状の分離が大変。風邪症状の治療に手間がかかる。
12. 風邪症状のある方、入口を別にしている。車中待機をお願いしているので、呼びに行く等手間がかかる。

13. 政府の要請とは関係なしに感冒症状の患者は予約、事前連絡なしに来院。その際に発熱患者のスクリーニングとしてインフルエンザを否定するように診療所に求められていますが、予防処置として N95、フェイスシールドなどの整備をするようにとされていますが、すでに在庫切れで、卸業者に発注しても、注文そのものを受け付けてくれないので、スクリーニングが不可能となっています。
14. 発熱、咳の強い患者は車の中から受診するなど対応しているが、その手間もかかる。職員が少なくなっている中でとても大変です。コロナで一般患者も少なくなっています。
15. 老人の患者様が多い為、風邪の方とは出入口から全て別にしていても神経を使いますし、時間もかかります。
16. コロナ感染の疑いを否定できない患者が来院した場合。(保健所が診療所にかかるようにと指示した場合)
17. 発熱患者の診療を拒否する医院から当院へ来院する患者の増加。
18. 診察室を密閉しないよう扉を開けているためプライバシー保護が万全ではない。
19. 患者毎に診療台等の消毒
20. 狭い院内では感染疑いのある方との接触を最小限にとどめるのは難しく、対応に苦慮している。
21. 隔離動線が無い為、保健所に連絡をしかかりつけ医を受診するよう言われた患者様と他の患者様が同じ空間を共有しなくてはならない状況に困っています。
22. 待合室が狭いので患者さんの居場所を分けることができない。
23. 院内のドアや取っ手、スイッチ類等の消毒、換気の手間と消毒薬の消費量が大変増加している。
24. 高齢者と糖尿病の患者さんが主なため、風邪症状のある患者さんと区別するのに非常に神経を使うし、区切られたスペース確保するのも非常に難しい。

その他 (21)

1. インフルエンザ検査を中止。
2. 職員が感染した場合、外来閉鎖等考慮する必要があり、民間病院としては多大な損失が予想される。
3. スタッフが減ることで患者対応に困る。
4. ご家族での来院の配慮。病室面会禁止。(外来受診の際、マスク着用、アルコール消毒の徹底)
5. 訪問診療に入れられない施設がある。
6. 統一方針がなく、個人の判断に任せられている。
7. 透析患者以外は施設外(玄関外)で長期の処方対応
8. 検査項目が多くなり、診療時間が長くなる。
9. 新型コロナウイルスの感染を心配され、通常診察予約の方が待合室で待つのが困難とのことで、処方のみを希望される方が多少います。また、しばらくは診察に来れないという方もいらっしゃいます。

10. 小・中・高休校による看護師・医師事務作業補助者の休暇取得に伴い、診療時間が長引いている。
11. 不安がる人が多い。
12. 玄関ドアに「有熱者、風邪症状のある方は中に入らず、まず電話をして下さい」と表示して、感染者との接触を防ごうとしているが、うまく機能していない事例があり。
13. 当院に於いては、透析患者の出入りが済み次第玄関をロックして不要不急の外来を断っています。
14. 投薬のみで患者の増加、長期処方を希望される方が増えています。
15. 定期管理をしてほしい、公共の乗り物に乗るのが不安等。
16. 障がい者施設が外出禁止のため、通院できない。

4、勤務体制への影響の具体例

休校影響（18）

1. 小学生をもつ親が困っている。
2. 子どもを祖父母に預けて勤務している。
3. スタッフに学童、介護老人がおり、勤務に影響がある。
4. 子どもだけで留守番している（人数不足のため）
5. 子どものいる従業員の出勤が難しい。（多数）
6. 子連れ出勤しなければならない職員あり
7. パート職員の子供が小学生で、自宅待機している。
8. 子を持つ該当職員の子を半日預かり、半日を特別に休暇とし有給とした。特別休暇の有給分は病院の持ち出しとなっている。
9. 他の家族に、子供を預けて出勤しているスタッフがいます。

勤務時間、体制変更（12）

1. 午前だけの職員あり。
2. アポイントキャンセルに伴い、スタッフのシフト変更。
3. 時短や半日休業を取得するスタッフが増え、他のスタッフに影響
4. 看護師が少人数の為、医師1人で対応する時間帯もあり診療に影響。
5. パートの職員が小学校の子供が家にいるので早めに帰る。
6. 従業員さん方が遅めの出勤や早退が度々。
7. 元々、人手不足でマンパワー不足であるところに、本来は時間的・空間的な動線を分ける必要があるので、時間外対応もあり、スタッフの健康面への影響が心配。
8. 感染対策が重要視され、勤務時間以外に環境整備が必要になった。
9. パートの方の診療時間、勤務時間削減。
10. 看護師、介護士の職員の休日が取れない。
11. 少ない人の中だったので、更に人手が減るが、何とか全員で回している。
12. 勤務表を作るのに休みを譲り合っていますが、しわ寄せが出つつあります。

勤務影響その他（12）

1. 入学準備等で県外へ付き添うスタッフの帰宅後、職場復帰を見合わせたりなどの指針がない。
2. 透析患者が発熱の場合、通常シフト買いの単独透析を行っている。
3. 今は問題ないが、ギリギリのスタッフで運営しているため、スタッフには極力不要不急の外出は控えてもらっているが申し訳なく思っている。
4. 休校に対する該当者が職員の中にいない為であるが、今後、救援や施設利用の休止など広がれば影響あり。
5. 今は問題ないが、長期は不明。
6. 託児ルームが定員オーバーになる。

7. 患者さんは少なくなりますが、職員は対応のため増やしており、疲れが出ています。もし、この方がコロナだったら、と恐怖心もあり影響は図り知れません。
8. 少しの風邪症状でも休むようにと呼びかけがありましたが、それでは診療が成り立ちません。
9. 職員が突然離職。全業務を一人でしている。
10. 現在はないが、長期化すると、休校の場合は影響が出てくる可能性はある。
11. 入室人数の制限や電話対応など、スタッフの業務が増え、疲労感が強くみられる。
12. 感染者が見つかった場合の休診が心配

5、要望・意見など

マスク、消毒液等の供給（64）

1. マスクや消毒液の配布は医療機関を優先してほしいです。（多数）
2. マスクに限らず、特に消毒用アルコール、ガウン等、医療用材料は転売も禁止、オークションや一般ネット販売も禁止にして頂かないと診療出来なくなります。
3. マスクの在庫が少ないです。1人1枚/日とし、衛生面で不安があります。
4. マスクは在庫はありますが、補充の目途なし（医薬品も通販も）。手指消毒剤も現時点で補充の目途なし。
5. 国及び県に備蓄があるようでしたら早急に病院や医院へ配布していただきたいです。子どもを持つ親だけでなく介護老人が居る家庭も大変です。社会全体を見て対策を考えてほしいです。
6. 県はマスクを配布していただけるようですが、すべての医療機関までいきわたりますか？心配です。
7. このままでは無防備で診察することになる。
8. 国でマスク備蓄を医療機関に配布してほしい。
9. アルコールなど、国は医療機関優先と言っているが、保健所へ電話したが全く予定はないと言われた。
10. マスク等衛生材料の在庫、見込み等につき、お教えいただければ幸いです。
11. マスクがメーカーからも買えません。至急対策していただきたいです。
12. 今のところ間に合ってはいるが、これ以上の入荷が困難と思える。対応を望む。
13. インフルエンザ検査を実施する場合、防護服などの装備が無い為、診療所に一、二着は欲しいと思います。
14. 消毒剤等の物資が届かなければ、診療継続が困難となる事態が十分予想される。県、国による保障と優先配布が強く望まれる。
15. 備蓄のマスク、グローブ類、消毒液などを医療の現場へ回してほしい。医療崩壊をくい止めるべきではないか？スタッフ・医療人への経済的支援は考えてくれないのか？！
16. 医療機関で色々なものが品薄になっており、個人の力ではどうにもならないことを重大に受け止めてほしいです。
17. 医院、病院だけでなく、歯科診療所にもマスク、アルコール消毒液を配布してほしい。
18. マスク、アルコールが十分供給されること。PCR検査をしたくて安易に外来へ受診しないように、軽症の時は電話再診で経過を自宅でみられるようにしてほしい。
19. 面会の人にマスクがなかったりする人がいます。一家族にマスクを配布するということはできないのでしょうか。お店に出ても買える人と買えない人がいます。
20. 今後、マスクがなくなってしまっただけからの勤務に不安があります。少しずつでも
21. マスクを入手できない独居の高齢者、精神疾患の患者様に相談を受けるが、マスクの提供はできず、申し訳ない場面がある。（マスクの供給を引き続き検討してほしい）
22. マスクや手指消毒液が少量でもコンスタントに入手できるようにしてもらいたい。
23. このような感染対策に必要なものがなくなれば、かぜ症状の患者さんも、いつもみてい

る患者さんも診察できなくなる。感染対策ができないことを理由に診察を休診しなければならなくなる。

24. 感染対策ができずに医師を含めた医療関係者への感染がこれからでてくれば、医療崩壊する。
25. 現状が続けば疲弊し、医療資源が不足すれば、このような対策を診療所が個別に行うことは困難。現在の帰国者・接触者外来を拡大したような「発熱外来」「新型コロナ外来」「有症状者外来」を開設し、そこで集中的に医療資源を投入して対応していくことも検討されるべきではなかろうかと考えている。”
26. 中国へ依存しない、国内生産への方法（価格も手ごろで）
27. 防護服、マスクの配給をお願いしたいです。切望します。
28. マスク使い回しをしてはいけないと分かっていますが、不足が見込まれるため、1人1週間使ってます。
29. 医療関係者にマスクを配布と言っているが、歯科へは二の次になっているように思えます。
30. 医療機関には、せめて消毒液関係は行き渡るよう配慮を願いたい。マスクはまだ自助努力で補えるが、消毒等薬品類は欠品があってはならない。

行政の対応（10）

1. 対応が遅い。
2. 全てが他の国に比べ対応・対策の遅れあり。
3. 保健所の対応が悪い。発熱、咳で保健所に患者さんが連絡しても、とりあえずかかりつけ医郁容にと指示されることが多い。電話だけで判断できるわけもなく結局かかりつけ医に丸投げしている。症状がどんどん悪くなり2回電話してもかかりつけ医に行くように指示された人もいて、こちらから再度保健所に連絡してようやく協力病院に受診できた人もいる。保健所はPCR検査をなるべくしたくないようだ。
4. 中央政府へ。民間企業が医療用品を大量生産できるよう資金を給付する（貸与ではなく。）将来、造設したラインや工場が不要となった場合は中央政府が買い取る。物品さえ潤沢になれば、あとは現場の人間ががんばります。中央政府は消費税不況＋コロナ不況で死人が出ないように、消費税を0%にして、更に数十兆規模の財政出動してください。
5. 国は使えそうで使えない施策を出している。
6. 政治的恣意的な検査のハードルが高いため、実体が分からず、不安を煽る。
7. 長期化しないよう迅速、積極的対応をお願いします。
8. 入国制限が遅かった。物品補充を早期をお願いします。
9. 国：ETF 買いや国債買取オペをする資金が有るのなら医療、福祉に資金・物資を提供すべき。自治体：職員にマスクを提供するのであれば、マスクの無い者へ提供すべき。
10. 「マスク9億枚」「PCR検査の増強」等の放言を国民は怒っては？

検査体制等（11）

1. 安心して検査できる場所が必要。
2. COVID-19 の PCR 検査体制が現場需要に全く追いついていない。N-95 マスクが全く入手不能。
3. PCR 検査を受け入れていただくまでの返事に時間がかかりすぎる。
4. PCR 検査簡易キット検査でサンプル調査すべき。
5. 医療に関する備品の充実。コロナウイルス検査を指定医療機関でたやすくできる状況にして欲しい。
6. 対応できる施設で重点的に SV_O₂ チェックの出来る態勢を整えていただきたい。（ドライブスルー等）
7. 検査数を増やして欲しい。
8. コロナウイルス検査をもっとやるようにしてほしい。コロナウイルス陽性の人が出たからといって、2 週間の休業は困ります。
9. 検査を早くできるようにしてほしい。ワクチンを早く作って欲しい。
10. 効果のある薬剤、検査キットの迅速な認可を希望します。

患者さんへの情報提供等（5）

1. 「感染疑いのある方は受診せず電話で相談すること」と住民（国民）に徹底してほしい。
2. 患者さん、地域の皆さんに対して、PCR 検査について分かりやすい説明をしていただきたい。i) どこで PCR 検査ができるのか。ii) まず電話なのか。直接行っていいのか。iii) 検査ができないかかりつけ医の役割等について。
3. 統一した方針で、県民・市民へ指導・情報開示をして頂きたい。医療が崩壊してしまいかねません。
4. ウイルス感染が疑われる方や、強く検査を望まれる方については、もう少し積極的に接触者外来へ紹介してもらいたい。一般の外来診療では、対応できない患者（疑い例など）が受診される機会が多くなっているように感じます。
5. 大きな病院はすぐに外来を受診することは少ないようで、かえって医院の方が発熱や感染症疑いで受診される方が多き気がする。設備等物品もないので、できれば発熱等ある人は積極的に病院の発熱外来等へ受診できるようにしてほしい（紹介状無くても）。保健所の対応も病院の発熱外来へ（大きい施設へ）行くように案内してほしい。

医療機関への情報提供（5）

1. 正確な情報を早くいただきたい。
2. コロナウイルス陽性が出た時、その後医療機関閉鎖や濃厚接触者（家族など）に対する処置の方法、検査手続き、休暇手続き、その他など具体的な対策が全く伝わってこない。細かい指示等早急に教えてほしい。
3. 患者さんが、呼吸器症状で当院受信後に新型コロナウイルスに罹患が判明した場合に、当院の対応として、外来を閉院する必要があるのか、その後の対応をどうするのか？

新型コロナウイルスが更に蔓延した場合には、その後も同様の状況が頻繁に起こりうる事が想定されるが、この場合も同様対応となるのか？

その他要望・意見

1. クリニックの運営にも適切な在庫管理が必要と痛感しました。
2. 先が見えず不安です！！
3. 諸々の事由により、スタッフが揃わない。保険改定を3ヵ月先延ばしにして欲しい。
4. 新型インフル同様に中核病院か野外の発熱対応願いたい。ラボウやVisGeneの簡易テストの導入。
5. できるだけ早く、新型コロナウイルスの「抗ウイルス剤」が出来る事を望みます。
6. 今後も定期的な調査をお願いします。
7. 患者が発生したとの誤った情報で風評被害を受けた。
8. オリンピックは中止にすべき。
9. パンデミック相当ということになっているので、それなりの対応をしないといけないが、歯科診療所はこの様な感染には不慣れで、全く予想がつきません。非常に怖いです（患者の来院・診療）。これで感染者が出た場合の対処に対しても、具体的な方策がある訳でなく、休診するにしてもその保障とか（経済的に）どうなるのでしょうか？それも悩みの種です。（歯科のリスクは極めて高いにもかかわらず対応が極めて低い！！）少なくとも、マスク、消毒用エタノール等、必要際上限の衛生用品の不足の解消をお願いしたい。患者の情報は欲しいが、体調悪くても医科受診しない人も相当数いると思うので自己防衛するしかないですね…。
10. 世の中が「新型」ウイルスなので心配になるのはよく理解できる。だけど、毎日感染したとかニュースで耳にするとみんなが怖がる。コロナウイルスはただの風邪で、重くなる人はどのウイルスでも同じだと、いつもと同じように予防するようしっかり伝えて欲しい。
11. 考え得る最大限の支援をお願いいたします。
12. コロナウイルス患者の診療をすることが診療所にとって悪いこととしているような風潮があるのではないかと？
13. コロナウイルス感染症かどうかわからない患者を診療するのは、最初は診療所です。にもかかわらず、現場では①コロナの検査ができるのは、防護服等が揃っている病院に限られ、②マスク等の感染予防の医療材料が、「過去の納入実績」によって割り当てられるなど、病院勤務のスタッフが守られますが、一次医療を担う我々は守られません。これは明らかに国の判断の洩りであり、早急に問題化すべきと思います。
14. 国民の不安をあおるような情報等は事実に基づくものにあらためてほしい。
15. 今のところ通常の診療ができていますが、受診者やスタッフに感染者がでたら今まで通りにはいかないと思います。
16. ①疾患の概要（感染力、致死率など）を明らかにする。②受診を控えるような（4日間の自宅安静など）方向には進まないように。③ウイルス検査を保険適応した以上は検査

体制の確立（すべての医療機関で行うなど）④クリニックレベルでも行える迅速検査の開発。

17. 医療用マスクの生産安定供給をするために、国産工場を確保してください。「シクレソニド（オルベスコ）」やCOVID-19の「アビガン」治療薬を保険適用してください。
18. コロナ感染が疑われる患者様は県と国が集約し診療をしていただきたいです。
19. 私は高齢者、基礎疾患あり（気管支喘息）です。医療崩壊が始まり、弱小診療所にも新型コロナウイルス感染患者が受診するようになったら閉院しようと思っています。開業医の高齢化に対して対策が必要だろうと思います。
20. 患者さんが経済的理由で治療を控える傾向が出ている。また、コロナ感染に対しても歯科治療の際の感染に不安を持つ人が増加し始めている。しばらく忍耐が必要と思っているが、患者さんが症状悪化してやむなく来院している状況で完治が遅れていることをわかってもらいたい。
21. 早めに治療薬、ワクチンの開発。地域でも検査ができる体制を構築。
22. かかりつけなどの医療機関で、一次的なスクリーニングをさせるのであれば、内科診療所に早くN95、フェイスシールドなどが届くように（マスク、消毒液は当然ながら）強く対応を求めます。それができないのであれば、繰り返し、感冒症状の患者は「受診しない」よう通知すべきです。打開策として初診でもオンラインで処方ができるように早急に規制緩和すべきです。
23. マスクはない、消毒液はない、防護具、手袋もないので、見えない相手とたたかわされている。現場の診療所はいくら予防策をとっても常に感染の危険性にさらされています。職員も同様です。子どものいる人は、お互い様とみんなで譲り合っていますが、長期化すると思われまますので、これからも様々な支障が増えてくると思います。対策による金銭的補填もようですが、金があってもマスクや手袋、防護具が市場にない状態を早急に解決していただきたい。「応召義務がある」と言われても無防備では難しい。コロナにかかれば私の診療所はつぶれます！！
24. 県内感染者数は少なく、休校の影響でスタッフ不足にさらに追い打ちをかけています。
25. 結局、個人診療所は市町村任せ、指導にしろ支援にしろ程遠く、患者さんの事も自分たちの事も医師本人の裁量任せということでしょうか。疲れます。
26. 発熱患者の詳細な検査ができず困っています（できない国、県全体の体制）。最寄りの医療機関で診療を断られ、保健所でも検査をしてもらえず、対応してもらえず、自宅で様子をみる事しかできない方がいて困りました。
27. 当番医の日に不特定多数の患者さんが来るので不安を感じる。
28. 社会保険関係だけでも流通規制が必要ではないか。
29. 37.5℃以上にこだわらず、普通の風邪と経過が異なると考えられる場合は、診療所を受診するのを避けるようにしていただきたい。
30. 歯科治療において、飛沫を浴びることは避けられない。歯科にも目を向けてしっかり対応して欲しい。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う緊急調査

会員各位

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、マスク、アルコール等の感染対策備品の不足や感染症(疑い)の患者さんの診療体制など医療機関では対応に苦慮されていることと思います。つきましては、保険医協会では医療機関の実態を行政に報告し、要請するために下記の緊急調査を実施することとしました。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2020年3月13日
長野県保険医協会

締め切り 3月17日

FAX 番号 026-226-8698

1、医療機関の種別 病院 医科診療所 歯科診療所

2、医療用品の状況

(1) マスク 問題なし 不足が見込まれる

現在不足

在庫量 数日分 1週間分 2週間 3週間 4週間 1月以上

(2) 手指消毒液 問題なし 不足が見込まれる

現在不足

在庫量 数日分 1週間分 2週間 3週間 4週間 1月以上

(3) その他不足する医療用品の(自由記載)

3、通常の診療への影響

特になし 若干ある 大いに影響がある

具体例

4、勤務体制への影響

問題なし 臨時休校の影響あり その他の影響あり

具体例

5、県や国に対する要望やその他自由意見をご記入ください

ご協力ありがとうございました